

肝臓がん治療薬レゴラフェニブ について

バイエル薬品は、**ソラフェニブ**投与後に増悪した進行肝細胞癌（HCC）患者を対象に、**レゴラフェニブ**とプラセボを比較したフェーズ3試験の結果、レゴラフェニブ投与群で生存期間の延長効果が認められたと発表し、結果の詳細が *Journal of Hepatology* 誌に掲載されました。



進行HCC患者に対する死亡までの期間の中央値は、プラセボ群が19.2カ月（95%信頼区間：16.3-22.8）に対して、レゴラフェニブ群が26.0カ月（95%信頼区間：22.6-28.1）でありました。

